

教科	農業	科目	農業と情報	単位数	2 単位	学年	3 年	コース	E 選択
使用教科書		農業と情報(実教出版)		使用副教材等	ビジネス文書実務検定模擬試験問題集(実教出版) 情報処理技能検定試験・表計算 模擬問題集(日本情報処理検定協会)				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業に関する情報を主体的に活用するために必要な資質・能力を育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	農業に関する情報について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	・定期テスト ・演習課題の達成状況(アプリケーションソフトウェア操作方法の習熟)	・定期試験 ・演習課題の達成状況(アプリケーションソフトウェア利用の工夫)	・演習課題の達成状況 ・授業・演習での取り組みの様子 【主体性】積極的に取り組んでいるか 【協働性】協力して共に学び合う姿勢が見られるか

担当者からのメッセージ	・集中して授業に取り組み、情報化社会で生きる社会人として必要な知識とモラルを身に付け、日常生活に活かしてください。 ・演習中心の授業になります。自ら学ぶ姿勢(自主性)、協力してお互い高め合う姿勢(協働性)を意識して取り組んでください。
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4 7	第4章 スマート農業への展望 1 スマート農業のめざす将来 2 システム開発と設計 3 プログラムの設計 4 計測と制御 5 リモートセンシングとGIS 6 人工知能	【知識・技術】 スマート農業やリモートセンシング、AIなどの計測・制御・通信のしくみ、データベースによる情報蓄積や管理の概念、モデル化やシミュレーションの方法や考え方などを理解し、適切に活用できている。 【思考・判断・表現】 スマート農業やリモートセンシング、AIなど、最新の農業に関する情報システムの諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 スマート農業やリモートセンシング、AIなどの計測・制御・通信のしくみ、データベースによる情報蓄積や管理の概念、モデル化やシミュレーションの方法や考え方などに関心を持ち、それらの課題や活用について探求しようとしている。
2	9 12	第5章 農業情報の分析と活用 1 農業情報の収集と分析 2 農業生産や経営情報の分析と活用 3 環境に関する情報の分析と活用 4 食品や地域資源に関する情報の分析と活用	農業情報や環境情報と関連付けた農業技術、経営に関する情報、地理空間情報、環境情報などの収集・蓄積と更新・処理等が、環境保全・農林業に及ぼす意義や役割について理解し、その利用について適切に選択し活用している。 農業情報や環境情報に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 農業情報や環境情報に関心を持ち、地域の実態や学科の特色に応じた実践的な課題について探求しようとしている。
3	1 3	第6章 農業学習と情報活用 1 農業学習とプロジェクト学習 2 プロジェクト発表と情報発信 3 データの視覚化と分析	農業学習やプロジェクト学習に関する情報処理について各段階での記録・整理・分析・発信について理解し、その利用について適切に選択し活用している。 農業学習に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 農業学習やプロジェクト学習の課題設定から評価までの四段階の学習に関心を持ち、農業情報の処理処理の過程や課題解決について探求しようとしている。